

# 男女平等、求め続けて半世紀



アイスランドの首都レイキャビクで「女性の休日」を記念し行進する人々=10月24日（共同）



北欧の島国アイスランドで  
1975年、女性たちが男女平等を求める行動を起こしました。「女性の休日」と呼ばれるその行動から50年後の今

左の記事を読んで、下の問い合わせに答えましょう。

- 1 1975年、アイスランドの「女性の休日」に女性たちは何をしましたか。また、何のためにそんなことをしましたか。解答欄に合わせて、本文中から適語を抜き出して入れましょう。


を求めて、

--	--	--	--	--

をみんなでやめた。

- 2 「女性の休日」の結果、アイスランドはどんな国になりましたか。解答欄に合わせて、本文中から10字で抜き出しましょう。

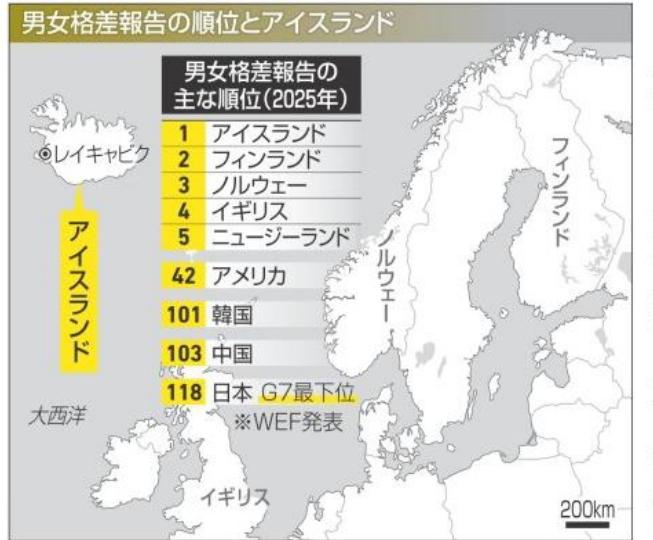
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

世界で最も

になった。

- 3 男女格差報告の順位で、日本、ニュージーランド、中国、アメリカを、順位の高い順(男女の差がない順)に並べましょう。

1	2	3	4
---	---	---	---



差がない国であるという結果が出ています。「女性の休日」をきっかけに政治に働きかけ、男女の賃金格差を禁止する法律ができました。女性大統領も誕生し、世界で初めて民主的に女性の国家元首を選び出したのです。女性で2人目となる今のトマスド・ツティル大統領は交流サイト(SNS)で50年をむかえたことを祝い、「勇気と能力、意志があれば何でもできる」と呼びかけました。今年の集会には女性だけでなく男性や、LGBTQ(性的少数者)、移民といった不平等な状況になりやすい人々も参加しました。大通りには家事をイメージさせる洗たく物やエプロンがかざられ、参加者がなごやかに行進しました。ティス・マシュテンシュトテフさん(45)は「道を切り開いた先人の女性たちがいるから、今の私たちがある」と語りました。

# NIEワークシートのこたえ（2025年12月16日公開）

◆ワークシート「アイスランド女性の日(社会)」  
2025.12.14付 朝刊 20面 解答

- 1 男女平等 仕事や家事
- 2 男女の格差が少ない国
- 3 ニュージーランド アメリカ 中国 日本